

令和4年度学校評価 結果と分析

重点目標	具体的目標	アンケート質問項目	評価(4段階評価)					分析	
			児童	保護者	職員	平均	評価		
確かな学力の定着	「わかった」「できた」と実感できる授業展開と指導法の工夫	わかりやすい授業である。	3.6	3.8	3	3.5	3	3	○児童は主体的に学習に取り組んでいるという認識が高く、授業はわかりやすいと感じている。 ○ICTを活用した授業を積極的に取り入れることにより、「わかる」「できる」という意欲や自信につなげることができている。 ●読書に関して、児童は移動図書館など積極的に本に親しんでいるが、学年向けに設定されている選書(「旅する読書」)を手にとることが少ない。また、家庭で読書をする時間や機会が限られている。 ●家庭学習の取組や内容について、今後改善と工夫が必要である。また、家庭との連携を進めながら啓発していく必要がある。
		学習内容をよく理解している。	3.2	3.5	3	3.2			
	読書習慣の定着	進んで読書をしている。	3.5	1.8	3	2.8	3		
		「旅する読書」に積極的である。	2.5	1.3	3.3	2.4			
	学習訓練の徹底と複式授業の充実	進んで発表する。	4			4	4		
	授業と連動した家庭学習の推進	進んで家庭学習に取り組む。	2.3	2.8	2.7	2.6	2		
その他	デジタル教科書、タブレットを活用し、工夫した授業をしている。	3.8	3	3.3	3.4	3			
	飼肥杉積み木(日南キューブ)を活用している。	4	2.5	3	3.2				
豊かな心を育む教育の充実	あいさつ運動の充実	家族・先生・地域の方に進んであいさつをする。	3.7	3.5	3	3.4	4	4	○3学期から転入した児童もいる中で、「楽しく学校生活を送っている」という項目が児童・保護者ともに高評価であった。 ○あいさつや返事などがよくできるようになっている。友達への接し方も優しく気遣う様子がみられた。 ○地域の方との交流を通じた学習活動によって、酒谷地区への愛着や誇りをもつことができている。 ●児童への賞賛や励ましなどを続け、児童が活躍する場を意図的に設けて発信していく必要がある。 ●基本的な生活習慣についてはおおむね身につけているが、学校生活におけるルールなどの徹底を図る必要がある。
		元気のよい返事ができる。	4	3.3	3.3	3.6			
	いじめ防止基本方針の推進	友達と仲良く過ごしている。	3.8	3.8	3.3	3.6	4		
	道徳教育の充実	友達に優しくしている。	3.8	3.8	3.3	3.6	4		
	その他	楽しく学校生活を送っている。	4	4	3.3	3.8	3		
		児童が活躍する場を作り、認め、励ましている。		2.8	3	2.9			
基本的な生活習慣(ルール・マナーを含む)が身につけている。		3.8	3.5	2.7	3.3				
	酒谷小や酒谷地区を好き・誇りに思う教育がなされている。	3.8	3.8		3.8				
健康・体力の向上と安全教	基礎体力の向上	進んで運動をする。	3.7	2.5	3	3.1	3	4	○今年はいよ姿勢の指導を行ったが、着実に定着しつつある。身についたことが家庭でも実践できるように啓発を続けていく。 ○関係機関と連携した保健指導について、概ね満足していただいている。 ●新型コロナウイルス感染に伴い、屋外で遊んだり身体を動かす機会が少なかったと思われる。今後の取組として、体力向上プランに基づき体力の向上を目指していきたい。
		よい姿勢で過ごす。	3.3	2.3	3.3	3			
		早寝・早起き・朝ご飯	3.8	3		3.4			
	危険予測・回避能力の育成	安全に過ごしている。	3.8	3.8	3.3	3.6	4		
		安全に行動できる力が身につけている。	3.8	4	3	3.6			
	家庭・関係機関と連携した食育・健康教育・安全教育の充実	関係機関と連携し、保健教育(食・健康・安全)の充実が図られている。		3.8	3.7	3.8	4		
虫歯・肥満予防の指導を強化し、保護者へも啓発を行っている。		3.8	4	3.9					
連携 家庭地域との一層の	学校の積極的な情報発信	ホームページや学校便り、文書・メール、学級通信により情報発信に努めている。		3.8	3.3	3.6	3	3	○児童の活躍や様子を含め、様々な情報発信を今後も行っていきたい。 ○これからも地域に根ざした教育活動を推進し、ふるさとを愛する児童の育成に努めたい。 ●話しやすい雰囲気作りに努め、児童に寄り添った指導に当たるよう心がけたい。
		悩みや困ったことを相談しやすい。	2.8	3.8	3.7	3.8			
	地域行事への積極的な参加	ふるさと学習(自然・産業・伝統芸能)を推進している。	3.7	3.8	3.3	3.6	4		
		地域の人材活用がなされている。	3.8	3.8	3.3	3.6			
	オープンスクール、参観日等の充実	家庭や地域と連携した教育活動が行われている。			3.3	3.3	3		
	ボランティア活動	ボランティア活動を積極的に行っている。	3.8		2.3	3.1	3		

〈学校運営協議員のご意見〉

- 児童数が増加したことは、大変に喜ばしい。特認校制度に関しては、もっと周知できるとよい。
- 転入してきた理由のひとつに、自然豊かな体験学習があったと聞く。今後も地域が一体となって酒谷小を支えていきたい。
- 学校として地域へ協力要請をして、もっと地域の資源や人を活用・利用していただきたい。
- 楽しく学校生活を送っている様子が、学習発表会でも感じられた。今後特認校制度を利用して転入する児童が増えても、しっかり対応してほしい。その取組の成果が口コミ的に広がっていくことを期待する。

〈次年度の取組に関する学校の意見〉

- 酒谷の自然や資源から学ぶことを通して、児童が酒谷のよさを実感・体感できる教育活動に取り組む。
- 読書や家庭学習の取組について、情報発信や改善に努める。
- 児童が活躍する場を意図的に設定し、全職員で認め励ますようにする。
- ホームページや学校便りを活用し、保護者や地域への情報発信に努める。
- 信頼される教職員を目指し、立場や役割などを意識した児童への対応を心がけ、児童が相談できる場や機会を設定する。